

○在りし日の愛日（あいじつ）小学校

旧大阪市立愛日小学校は地元の豪商「升屋」（ますや）が自らの居宅を寄贈して明治5年に開校したものです。その際に寄贈された山片（やまがた）家の蔵書等は、愛日文庫として、開平（かいへい）小学校に保管され、貴重な文化遺産として次世代に継承されています。

このコーナーでは、旧大阪市立愛日小学校の玄関部分の写真や愛日文庫に関する説明パネルを展示しています。



【愛日小学校玄関】



【愛日文庫の例】

○懐徳堂（かいとくどう）・適塾（てきじゅく）

懐徳堂は、江戸時代大坂（おおさか）の町人のための学問所で、1724年に道明寺屋（どうみょうじや）や鴻池（こうのいけ）らの豪商の出資により設立され、1726年には大坂学問所として幕府から公認されました。そして、1869年に閉校になるまで大阪の学問の発展と教育に大いに貢献し、山片蟠桃（やまがたばんとう）ら有名な学者を育てました。

適塾は1838年に緒方洪庵（おがたこうあん）が大坂に開いた蘭学塾です。適塾には全国から延べ600人を超える入門者があり、大村益次郎（おおむらますじろう）、福沢諭吉（ふくざわゆきち）ら、わが国の近代化につくした多くの人材が生まれました。

このコーナーでは、懐徳堂文庫や緒方洪庵とその業績の展示を行っています。

○大阪市の拠点開発

大阪都心地域において、大阪の北の玄関口たる大阪駅、水の都・大阪のシンボルである中之島、大阪のメインストリートである御堂筋沿道を中心とし、既存の都市基盤を生かしつつ、風格ある国際的な中枢都市機能集積地を形成することを目的として拠点の整備が進められています。

このコーナーでは、大阪駅北地区や中之島地区をはじめ主に都市再生緊急整備地域で実施されている、あるいはこれから行われる拠点開発を中心に展示を行っています。



【大阪駅北地区の建物イメージ】



【大阪北口広場のイメージ】

○御堂筋彫刻

大阪市では、平成4年度より、大阪のメインストリートである御堂筋をアメニティ豊かな芸術・文化軸としていくため、土佐堀通りから長堀通りの約2kmの区間において「御堂筋彫刻ストリート」の推進を図っており、現在、沿道企業等の寄付による29体の彫刻が設置されています。

アイ・スポットでは、29体の彫刻の写真を廊下側外周壁面に展示しております。



【アイ・スポットの廊下外周部の彫刻写真】



【彫刻写真の例】